



2025 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 **株式会社 アールシーコア**
(コード番号：7837 東証スタンダード)
代表者名 代表取締役社長 壽松木 康晴
問合せ先 経営企画責任者 岡水 裕次
(TEL. 03-5990-4070)

旭化成ホームズ株式会社との資本業務提携契約の締結並びに 主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 14 日開催の取締役会において、旭化成ホームズ株式会社（以下「旭化成ホームズ」といいます。）との間で、資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」といい、本資本業務提携契約に基づく資本業務提携を「本資本業務提携」といいます。）を締結することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本資本業務提携に関連し、当社は旭化成ホームズより、当社の既存株主が売主となり旭化成ホームズが買主となる当社の普通株式の市場外での相対取引による譲渡（以下「本株式譲渡」といいます。）が合意され、本株式譲渡により旭化成ホームズの所有する当社議決権の割合が 14.01%となる見込みであるとの連絡を受けております。本株式譲渡により、当社の主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動が見込まれますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の背景及び目的

当社グループは、木の自然材を多用した戸建住宅を主力の商品とする B E S S ブランドを主軸として、『「住む」より「楽しむ」』をスローガンに、人々の「自然の恵みを生かしたおおらかで心豊かな暮らし」を支えてまいりました。このような考え方の下、事業を展開し、2025 年 3 月期は、496 棟の受注を獲得しております。

また、当社グループは、創業 40 周年を迎える今期を第 2 創業期として、ブランドミッション「ユーザーハピネス」の本質に立ち還り、当社グループの存在意義を「人間へ B E S S」、ビジョンを「劇的感動」と定め、業績回復に向けてブランド理念の再構築を行っております。人間の感性に焦点を当てた感動づくりこそが B E S S ブランドの付加価値であることを再認識し、従来の新築戸建住宅事業に加え、法人向け事業の拡大、宿泊施設や賃貸住宅等を通じた新しいファンづくり、さらに地方自治体や企業との連携による地域貢献活動を推進しております。

一方、旭化成ホームズは、従来日本になかった「A L C コンクリート・ヘーベル」を建築材料として導入し、耐震・耐火・耐久性に優れた住まいが求められる中、その期待に応えることを使命と考え、「ヘーベルハウス」を発売しました。また、創業以来大切にしてきた LONGLIFE の視点から、次世代の豊かな暮らしの実現を追求しています。このような考え方の下、事業を展開し、2025 年 3 月期は建築請負事業において 11,243 戸を供給しております。

このように、人の住まい方・暮らし方を大切にする考え方は両社で共通しており、協業を進めるにあたっての基盤が整っていることに加え、共に強固なブランドを有すること及び主力とする商品の特

徴が異なることから、当社は、旭化成ホームズとの相互連携による事業強化や技術連携による共同開発等の取組みによりシナジー効果を生み出すことが可能であり、本資本業務提携は当社の事業収益の拡大及び企業価値向上に資するものとの考えに至り、本資本業務提携契約の締結を決議いたしました。

2. 本資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

当社と旭化成ホームズは、移住・二拠点居住など都市部から郊外・地方への住み替えの選択肢を増やす取り組みやストック住宅の流通活性化など、多様化するライフスタイルへの提案に向け、以下の項目について業務提携を推進することで合意しております。なお、業務提携の具体的な方針及び内容については、今後、両社の間で協議を行う予定です。

- ① 両社の商品や顧客基盤等の特徴を活かした事業連携
- ② 住空間や暮らしに関する共同研究
- ③ 技術領域における相互補完・共同開発 など

(2) 資本提携の内容

旭化成ホームズは、本株式譲渡により、当社の既存株主から当社普通株式合計 635,096 株（2025 年 3 月 31 日現在の総議決権数 45,336 個に対する議決権割合 14.01%）を市場外での相対取引により 2025 年 10 月 17 日に取得する予定です。

なお、当該既存株主は、個人株主 3 名となります。

3. 本資本業務提携の相手先の概要

(1)	名 称	旭化成ホームズ株式会社		
(2)	所 在 地	東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地 神保町三井ビルディング		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役会長 川畑 文俊 代表取締役社長 大和久 裕二		
(4)	事 業 内 容	住宅の販売、不動産開発		
(5)	資 本 金	3,250 百万円 (2025 年 3 月 31 日現在)		
(6)	設 立 年 月 日	1972 年 11 月		
(7)	大株主及び持株比率	旭化成株式会社		100.00%
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期
	純 資 産	211,826 百万円	119,052 百万円	150,213 百万円
	総 資 産	336,888 百万円	253,654 百万円	298,269 百万円
	1 株 当 た り 純 資 産	325,887 円	183,158 円	231,096 円
	売 上 高	410,708 百万円	400,952 百万円	419,521 百万円
	営 業 利 益	36,980 百万円	34,899 百万円	44,566 百万円
	経 常 利 益	45,279 百万円	83,962 百万円	44,097 百万円
	当 期 純 利 益	33,712 百万円	73,056 百万円	30,820 百万円
	1 株当たり当期純利益	51,864 円	112,394 円	47,415 円
	1 株 当 た り 配 当 金	38,234 円	216,923 円	47,312 円

（注）旭化成ホームズは連結財務諸表を作成していないため、単体の数値を記載しております。

4. 本資本業務提携の日程

(1) 取締役会決議日	2025年10月14日
(2) 契約締結日	2025年10月14日
(3) 本株式譲渡の実行日	2025年10月17日（予定）

5. 今後の見通し

現時点では、本資本業務提携による当社の業績への具体的な影響額については未定です。今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

II. 主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動（予定）

1. 異動が生じる経緯

本株式譲渡が実行されることに伴い、下記のとおり、当社の主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動が見込まれます。

2. 異動する株主の概要

新たに当社の主要株主及び主要株主である筆頭株主となることが見込まれる旭化成ホームズの概要は、上記「I. 本資本業務提携の概要」の「3. 本資本業務提携の相手先の概要」をご参照ください。

3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合 (注1) (注2)	大株主順位 (注3)
異 動 前 (2025年10月14日現在)	—	—	—
異 動 後 (予定)	6,350 個 (635,096 株)	14.01%	第1位

- (注) 1 異動後の「総株主の議決権の数に対する割合」は、小数点以下第三位を四捨五入して算出しております。
- 2 異動後の「総株主の議決権の数に対する割合」は、2025年3月31日現在の総株主の議決権の数45,336個（発行済株式総数4,536,400株から議決権を有しない株式数2,800株を控除して算出）に基づき算出しております。
- 3 大株主順位は、2025年3月31日現在の株主名簿を基準に推定したものです。

4. 異動年月日

2025年10月17日（予定）

5. 今後の見通し

上記「I. 本資本業務提携の概要」の「5. 今後の見通し」をご参照ください。

以 上